



大都市ノ精神的及ビ經濟的意義(3)

米田, 庄太郎

(Citation)

經濟學商業學國民經濟雜誌, 19(5):755-778

(Issue Date)

1915-11

(Resource Type)

departmental bulletin paper

(Version)

Version of Record

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/00052432>



大都市ノ精神的及ビ經濟的意義 (其三)

京大法文科講師

米田庄太郎

第三節 近代生活ニ於ケル大都市ノ經濟的意義

(一) 近代大都市人ノ心理的特徵ノ經濟的意義

余ハ前節ニ於テ近代生活ニ於ケル大都市ノ精神的意義ヲ論究スルニ當テ先ヅ近代大都市人ノ心理的特徵トシテ神經興奮性、神經性知力の打算的性質、個人主義的、自由主義的性質、世界主義的性質等ヲ論究シ、而シテ是等ノ心理的諸性質ガ近代精神生活上ニ有スル意義ヲ指摘シテ、以テ近代大都市ガ近代生活上如何ナル精神の意義ヲ有スルカヲ示サントシタノデアアルガ、今是等ノ心理的性質ハ近代經濟生活ニ於テモ亦根本的ニ重要ナル意義ヲ有スルノデアアル。サレバ本節ニ於テ近代經濟生活ニ於ケル大都市ノ經濟的意義ヲ論究セントスルニ當テモ、吾人ハ先ヅ是等ノ心理的性質ノ經濟的意義ヲ論究シナケレバナラナイ。然シ余ハ本論文ニ於テハ

主トシテ他ノ方面ニ就テ、本問題ヲ論究セントスルノデアルカラ、是等ノ心理的性質ガ近代生活上ニ有スル經濟的意義ニ就テハ、唯其ノ一斑ヲ指示スルニ止メテ置キタイト思フ。

先ヅ近代大都市人ノ神經興奮性、神經性ガ近代經濟生活上如何ナル意義ヲ有スルカト云フニ、前節ニ於テ論述セル處ニヨリテ察知セラル、如ク此ノ心理的性質ノ發達ニ就テハ近代經濟生活ハ其ノ重要ナル一原因或ハ一條件トナツテ居ルノデアル。然シ又之レト同時ニ神經興奮性、神經性ハ近代經濟生活ノ上ニ甚ダ重大ナル影響ヲ及ボシテ居ルノデアル。近代有資産者、企業家ノ經濟的行動ヲ考究スルニ當テ、吾人若シ此ノ心理的特徴ニヨク注意スルニ非ラズバ正當ニ理解シ難キモノガ少ナクナイノデアル。例ヘバカノ恐慌ノ如キモノデアル。又近代無資産者勞働者ノ經濟的行動ヲ考究スルニ當テモ同様デアル。カノ同盟罷工ノ如キハ其ノ一例デアル。近來ハ同盟罷工モ段々計畫的打算的ニ起サレル様ニナツテ居ル。而モ其一度起ルヤ其ノ後ノ進行ハ近代勞働者ノ神經興奮性、神經性ヲ勘定ニ入レルニ非ラズバ到底之ヲ正當ニ理解スルコトハ出來ナイ。更ニ革命的[サンデカリズム]ノ同盟罷

工ノ如キモノニ至ツテハ之ヲ正當ニ理解スル爲メニハ吾人ハ大ニ近代勞働者ノ神經奮興性神經性ニ注意スルコトガ必要デアルト考ヘル。

次ニ知力的打算の性質ニ就テ考ヘテ見ルニ全體近代經濟生活ハ根本的ニ資本主義的デアルコトハ一般ニ承認サレテ居ルノデアルガ今近代資本主義ノ心理的骨髓ト見ル可キモノハツマリ營利心トゾムバルト氏ノ經濟的合理主義ト稱スルモノデアアル而シテゾムバルト氏ガ經濟的合理主義ト稱スルモノハ左ノ三箇ノ方面ニ於テ發現シテ以テ資本主義的企業ノ發達セル形態ニ三種ノ特徵ヲ附與スルモノデアアル其ノ一ハ計畫的ナルコトニ於テ發現スルノデアアルガ要スルニ總テノ真正ナル資本主義的經濟ハ出來ルダケ遠ク將來ニ達スル經濟的計畫ヲ基礎トスルモノデアアル其ノ二ハ合目的ナルコトニ於テ發現スルノデアアルガ要スルニ遠大ナル經濟的計畫ニ應ジテ其ノ實現ニ役立つ手段ヲ出來ルダケ注意深ク選擇シ各手段ノ合目的性ヲ出來ルダケ充分ニ發揮セシメントスル努力ガ自カラ發達スルノデアアル而シテ其ノ三ハ計算的ナルコトニ於テ發現スルノデアアル全體資本主義的關係ノ内部ニ於ケル一切ノ經濟的事柄ハ其ノ貨幣價值ヲ目的トシテ行ハ

レ、又一切ノ資本主義的經營ハ利得ノ最後ノ一文マデモ收メントスルモノデアルカラ、資本主義的企業ニ於テハ、其契約締結内ニ起ル一切ノ經濟的箇々現象ヲ精確ニ數字のニ計算シ記錄スルノ必要ガ自カラ起リ、更ニ之ヲ有效ナル數的系統ニ計算のニ總合スルコトガ自カラ行ハレテクルノデアル。Sombart, Die Juden und das Wirtschaftslieben, 1911, S. 187. 然ルニ今此計畫のト云ヒ、合目的のト云ヒ、計算のト云フコトハツマリ知力の打算のト云フコトニ歸著スルモノデアル。サレバ經濟的合理主義ノ發達ハ大ニ近代大都市人ノ知力の打算の性質ノ發達ニ負フ處アルハ疑フ可カラザル事實デアルト思フ。但シ先ニモ述ベシ如ク、近代大都市人ノ此心理的特徴ノ發達ハ資本主義ノ發達、經濟的合理主義ノ發達ニヨリテ大ニ影響サレテ居ルノデアルカラ、嚴密ニ云ヘバ兩者ハ相互的影響ノ下ニ於テ相伴ナフテ發達セルモノト考ヘテバナラス。

次ニ個人主義的自由主義の性質ニ就テ考ヘテ見ルニ、近代大都市人ノ此心理的特徴ノ發達モ亦一定ノ經濟的條件、即チ經濟的分業ノ發達ニ負フ處大ナルコトハ前節ニ於テ論述シテ置イタガ、然シ其際ニモ述ベシ如ク、經濟的分業ハ結局個人ノ

簡性ノ發達ニ基ヅクモノデアル。サレバ近代經濟生活ニ於テ見ルガ如キ分業ノ著シキ發達ハ一方ニ於テ簡性ノ發達ヲ促ガスト同時ニ他方ニ於テハ簡性ノ發達ニヨリテ促ガサレテ居ルノデアル。更ニ近代經濟生活ハ經濟的自由ヲ根柢トスルモノデアルガ然ルニ經濟的自由ハ思想ノ自由、信仰ノ自由、法律政治上ノ自由等ノ發達ノ結果トシテ發展シ來レル自由主義ノ發達ノ最後ノ一階段ヲナスモノニ外ナラナイノデアル。是等ノ點ヲ考ヘテ見レバ、近代經濟生活ハ根本的ニ個人主義及ビ自由主義ノ重大ナル影響ヲ受ケテ居ルコトハ明ラカデアル。

終リニ世界主義的性質ニ就テ考ヘテ見ルニ、近代經濟ハ大體上國民的デアルガ然シ之レト同時ニ又大ニ世界的國際的トナリツ、アルノデアル。殊ニ資本ノ運用ニ於テ生産物ノ販賣ニ於テ、隨フテ又消費生活ニ於テ大ニ世界的國際的トナリツツアル。此クテ資本金企業家ノ活動ニ於テ世界的國際的傾向ハ著シク發達シテ居ルガ、更ニ勞働者ノ運動ニ於テモ同ジ傾向ガ發達シテ居ル、現今ノ勞働運動ハ少クモ其ノ精神ニ於テハ國際的世界的タラントスルモノデアル。而シテ前節ニ於テ述ベシ如ク、此ノ世界主義的傾向ハ大都市ニ於テ最モヨク發達シテ居ツテ、吾人ハ世

界主義的性質ヲ以テ、大都市人ノ心理の一特徵ト見做シ得ルノデアルカラ、之レニヨツテ又近代大都市ガ近代ノ世界の國際的經濟運動上如何ニ重要ナル意義ヲ有スルカヲ察知スルコトガ出來ルノデアル。

近代大都市人ノ心理的特徵ガ近代生活上ニ有スル經濟的意義ニ就テハ、余ハ茲ニハ以上簡單ニ述ベシ如ク、唯其ノ一班ヲ指示スルダケニ止メ、之レヨリ近代大都市ノ經濟的機能ニ就テ稍々詳シク論究シ、其ノ方面ヨリ見テ近代生活上ニ於ケル大都市ノ經濟的意義ヲ闡明シテ見タイト思フ。

(二) 經濟的機能ノ上ヨリ見タル近代大都市ノ意義

今都市ノ一般的概念及ビ真相ヲ決定セントスルニ當テ、之ヲ唯都市ノ形態的性質ノ方面ノミヨリ考察スルダケデハ到底正當ニ其目的ヲ達スルコトガ出來ナイ、吾人ハ又其ノ機能の性質ノ方面ヨリモ考察シナケレバナラナイト云フ理由ハ、余ハ之ヲ本論文第一節ニ於テ論述シタガ、更ニ其際機能の性質ノ方面ニ於テハ經濟的機能ヲ標準トスルハ最トモ穩當デアルコトヲ論ジ、而シテヅムバールト氏ノ云ハル、如ク、都市トハ其生活資料ニ於テ外部ノ農業的勞働ノ生産物ニ依屬スル人

人ノ大ナル居住所デアルト見ルガ、比較的最もモ穩當ナル都市概念デアルト論斷シテ置イタノデアアル、然ルニ此都市概念ハ全體ノ上ヨリ見テ都市ヲ村落ヨリ區別シ其ノ一般的性質ヲ決定スルニハ敢テ不足スル處ハナイガ、都市ノ經濟的機能殊ニ近代大都市ノ經濟的機能ヲ明ラカニスルニハ尙ホ充分デナイ。ソレデ余ハ先ヅ一層詳シク都市一般ノ經濟的機能ヲ考究シ、夫レヨリ特ニ近代大都市ノ經濟的機能ヲ考究シテ以テ其ノ經濟的意義ヲ闡明セントスルノデアアル。

却說都市ノ經濟的機能ハ先ヅ生産的ト消費的トニ二大別サレルガ、更ニ其ノ生産的機能ヲ商業的ト工業的トニ別ツコトガ必要デアアル。サレバ其ノ主要ナル經濟的機能ノ上ヨリ見ルト都市ハ先ヅ商業都市ト工業都市ト純消費都市トノ三種或ハ三箇ノ類型ニ分類サレルノデアアル。商業都市トハ本來廣義ノ商業的利潤ニ基ヅイテ成立スルモノニシテ、工業都市トハ本來工業的利潤ニ基ヅイテ成立スルモノデアルガ、ゾムバールト氏ハ更ニ之ヲ工業的部分都市 *die industrielle Teilstadt* ト工業的完全都市 *die industrielle Vollstadt* トニ別ツテ居ル。工業的部分都市トハ又勞働者都市トモ稱ス可キモノニシテ、其ノ工業的生産ニ於テ、其ノ人口ノ生存ヲ維持スルニ必

要ナルヨリハ遙カニ多額ノ價值ヲ產出シテ、之ヲ外部ニ送り出スモノデアルガ、工業的完全都市トハ其企業利潤ノ大部分ヲ其ノ人口ヲ維持スル爲メニ消費スルモノデアル。而シテ純消費都市トハ自己ニ於テ殆ンド何等生産スル處ナク、全ク外部ノ生産ニヨリテ存立スルモノデアル。例ヘバ主トシテ貴族、富豪ヤ又ハ年金收得者等ヨリ成ル都市ノ如キモノデアル。然ルニ是等ノ三種或ハ四種ノ類型ニ屬スルハ所謂小都市又ハ中都市デアツテ、大都市ハ其ノ何レニモ屬スルコトハ出來ナイ。蓋シ大都市ハ何レノ時代ニ於テモ純然タル商業都市トモ、亦純然タル工業都市トモ、亦純然タル消費都市トモ見做スコトハ出來ナイカラデアル。サレバ吾人ハ單ニ經濟上ヨリ見ルモ、右ノ三種或ハ四種ノ都市類型ノ外ニ更ニ大都市類型ト稱ス可キ特別ナル一類型ヲ立テルコトガ必要デアルト思フ、然ラバ大都市類型ハ如何ナル經濟的特徴ヲ有スルモノデアルカ。殊ニ近代大都市ハ他ノ時代ノ大都市ニ比較シテ之レト如何ニ異ナツテ居ルカ。余ハ此問題ヲ論究スルコトニヨリテ近代大都市ガ近代生活上ニ有スル經濟的意義ヲ最モヨク闡明スルコトガ出來ヤウト信ズルノデアル。

先ヅ大都市一般ノ經濟的特徵ヨリ論究スルガ上ニ述ベシ如ク大都市ハ純然タル商業都市デモ亦純然タル工業都市デモ更ニ純然タル消費都市デモナイノデアル。是レ商業ノミニヨリテモ亦工業ノミニヨリテモ更ニ純消費者ノ集合ノミニヨリテモ大都市ハ發達スルコトガ出來ナイカラデアル。商業都市ガ大都市トナルニハ其ノ内ニ多數ノ純消費者ガ集注シ來リ且ツ工業ガ發達スルコトガ必要デアリ又工業都市ガ大都市ニ發達スルニハヤハリ純消費者ノ集注商業ノ發達が必要デアリ更ニ純消費都市ガ大都市ニ發達スルニハ其ノ内ニ商業ヤ工業ガ發達セザバナラナイノデアル。サレバ大都市ノ經濟的特徵ハ商業又ハ工業又ハ純消費ノ何レニモ偏スルモノデナクシテ是等ノ三者ヲ併有シ商業的デアルト同時ニ工業的デアリ又純消費的デアルコトデアルト云ハチバナラス。然シ茲ニ一ノ問題ガ起ツテクル。夫レハ是等三種ノ經濟的機能ノ中デ大都市發達ノ因素或ハ原因トシテ何レガ最トモ重要ナル役目ヲ演ズルカト云フ問題デアル。余ハ之レヨリ此問題ヲ論究シ之レニ結ビ付ケテ近代大都市ノ經濟的意義ヲ闡明シヤウト思フガ先ヅビユヒヤー氏ノ大都市論ニ就テ此問題ガ如何ニ解釋サル、カヲ調ラベテ見ヤウ。

ビュヒャー氏ハ其ノ好著 Die Entstehung der Volkswirtschaft, 7e Aufl 1910 ノ中ニ收メ
ラレタル論文 Grossstadt-Typen aus fünf Jahrtausenden 及ビ Die Grossstadt. Vorträge und Aufsätze,
1903 ノ中ニ收メラレテ居ル氏ノ講演 Die Grossstädte in Gegenwart und Vergangenheit ニ於
テ古代東方文化國民ノ大都市、希臘及ビ羅馬ノ都市中世紀ノ都市竝ビニ近代大都
市ヲ比較對照シテ、主トシテ彼等ノ間ニ存在スル經濟上竝ニ政治上ノ差異ヲ論究
サレテ居ルガ、今氏ノ論ズル處ニヨレバ古代東方文化國民ノ大都市ハ原始專制君
主的大都市トモ稱ス可キモノニシテ其經濟的特徵ハ其ノ純消費的ナル點ニアル
ノデアアル。是等ノ大都市ハ戰時掠奪物及ビ征服サレタル人民ノ貢物ノ集合處ニシ
テカノ掠奪動物ガ其獲物ヲ曳キ摺ツテクル穴ニ比ス可キモノデアアル。商工業ハ僅
カニ萌芽ヲ發スルニ過ギズ、又其ノ住民ガ城壁内ノ田畑果樹園等ヲ耕作シテ收穫
スルヨリ以上ニハ別ニ國民ノ財貨生産ニ貢獻スル處ハナイ。要スルニ是等ノ都市
ハ單ニ保護防衛ノ機關及ビ支配手段タルニ過ギズシテ經濟的ニハ純然タル消費
團體 ein rein konsumtives Gebilde 或ハ主トシテ消費團體 vorwiegend Konsumtionsgemeinschaft
ニデアアル。希臘及ビ羅馬ノ都市モ本來土地所有者ノ防禦サレタル居住處ニシテ

經濟的ニハ主トシテ消費團體デアル。而シテ中世紀ニ於テ都市ハ始メテ生産團體トナツタ。近世都市モ亦中世紀都市ト同ジク生産團體ニシテ、勞働ノ場處最トモ強烈ナル國民的生産ノ場處トシテ兩者ハ大ニ類似シテ居ル。而モ兩者ノ間ニハ又重大ナル差異ガアル。中世紀都市ハ調和的ニ發達セル小工業ヲ基礎トシテ成立シ、其生産物ノ販路ハ唯都市の市場ノ直接交易ガ田舎住民ヲ引キツケル範圍内ニ限ラレテ居ルガ然ルニ近代大都市ハ之ニ反シテ偏局的ニ發達セル大工業ニヨリテ國民的市場ノ全體ノ爲メニ、又屢々世界の市場ノ爲メニ生産シ、其ノ營利領域ニハ殆ンド限界ガナイ、此クテ中世紀都市ハ本來小都市デアルガ、近代大都市ハ本來大都市ニ發達ヲスル傾向ヲ具有スルモノデアル。而シテ今獨逸帝國ニ於ケル大都市ニ就テ調ラベテ見ルニ、其人口ノ平均百分ノ五一・七ハ工業ニ從事シ、百分ノ二五・九ハ商業及ビ交通業、百分ノ八・七ハ官公吏及ビ自由職業ニ從事シ、而シテ百分ノ九・七ハ無職業者ニシテ、百分ノ四・〇ハ雜業者デアル。然ルニ商業及ビ交通業ニ從事スルモノ、少クモ三分ノ二ハ工業ニ從屬シ、或ハ工業ノ媒介ニヨリテ生存シ、又其他ノ部類ニ於テモ一部分ハ其ノ所得ヲ工業ヨリ引キ出スノデアルカラ、吾人ハ大都市人

口ノ四分ノ三ハ直接又ハ間接ニ工業ニヨツテ生活スルト云フコトハ出來ル。サレバ最トモ早ク大都市ニ發達セル近代都市ハ彼等ガ始メ首府帝都、衛戍地及ビ高尙ナル生活享樂ノ場處ナゾデアツタト云フ事情ニ負フ處大ナリト雖ドモ、而カモ近頃一派ノ人々ノ主張スル如ク、吾人ノ大都市ハ社會ノ經濟上受働的ニシテ本來消費的ナル一部分デアルト考ヘルハ明ラカニ謬見デアルト思フ。

以上述ベシ如クビュヒヤー氏ハ古代ノ都市ヲ以テ主トシテ純消費者ノ防禦サレタル居住地ト見倣シ、中世紀都市及ビ近代大都市ヲ以テ主トシテ生産者ノ生産的活動ノ場處ト考ヘ、隨フテ古代大都市ヲ以テ純然タル或ハ主トシテ消費的ナル團體、中世紀都市及ビ近代大都市ヲ以テ主トシテ生産的ナル團體ト認メルノデアル、サレバ氏ノ說ニヨリテ上ニ掲ゲシ問題ヲ考究スルトキハ、古代都市ノ發達ノ因素或ハ原因トシテ最トモ主要ナル役目ヲ演ゼシモノハ純消費者ノ集注ニシテ、而シテ近代大都市ノ發達ノ因素或ハ原因トシテ最トモ主要ナル役目ヲ演ズルモノハ工業デアルト論斷セ、予バナライノデアル。

今古代都市ハ主トシテ純消費者ノ集注ニヨリテ發生シ且ツ發達セルモノナル

コト、隨フテ其ノ古代生活ニ於ケル經濟的意義ハ主トシテ消費的ノモノデアツタ
コトハ歷史的事實ノ上ヨリ見テ疑フ可カラザルモノデアルト思フ。又中世紀都市
モ主トシテ生産團體ニシテ其ノ中世紀生活ニ於ケル經濟的意義ハ主トシテ生産
的ノモノデアツタコトモ疑フ可カラザル事實デアルト思フ。更ニ近代大都市ニ於
テモ其ノ人口十萬人以上ヲ越ユルコトアマリ大ナラザルモノニアリテハ、主トシ
テ生産團體タルモノ、隨フテ其ノ近代生活ニ於ケル經濟的意義ハ主トシテ生産的
ノモノデアルモノハ少ナクナイ。サレド特ニ巨大都市トモ稱ス可キ大都市ニ於テ
ハ、之ヲ其ノ發生及ビ發達ノ因素或ハ原因ノ上ヨリ見ルモ、亦其ノ實際上ノ狀態ニ
就テ考フルモ、果シテ主ニ生産的ナル團體ニシテ、其ノ近代生活ニ於ケル經濟的意
義ハ主トシテ生産的ノモノデアルト云フコトガ出來ルデアラウカ。是レ余ノ問題
トスル點デアル。而シテ此ノ點ニ就テゾムバールト氏ノ研究ハ大ニ注意ス可キモ
ノデアルト信ズルカラ、次ニ同氏ノ研究ヲ少シク述ベテ置キタイト思フ。(Sombart,
Der Moderne Kapitalismus, 2tes Bd. 10tes Kap.—, Luxus und Kapitalismus, 1913, 2tes Kap.)

ゾムバールト氏ハ大都市ノ一般的性質ヲ論ジテ「大都市トハ工業的、商業的及ビ

交通的都市、資本主義的の整理所デアルガ、然シ先ヅ第一ニ又消費都市デアル。而シテ信用業及ビ餘剩價值集中ニ對スル地方的、或ハ帝國の中心トシテ、其機能ニヨリテ發達スルホド愈々消費都市トナルノデアル。大都市ノ生計勘定ハ益々受働的^{パッシブ}トナリ行ク傾向ヲ有ツテ居ル。而シテ大都市ノ生長力ハ其ノ消費力ヲ増大シ得ル速度ニ依テ定マルノデアル。ト云ハレテ居ルガ、之レニヨリテ見レバ氏ハ大都市ノ消費的機能ヲ大ニ重要視サレコトハ明ラカデアル。而シテ氏ハ大都市ノ消費的性質ノ重要ヲ主トシテ其ノ發生及ビ發達ノ方面ニ就テ論究サレテ居ル。要スルニ氏ハ單ニ商業又ハ工業ノミニヨリテ大都市ハ發達スルモノデナク、商業都市又ハ工業都市ハ一般ニ中都市ニ發達スルニ止マリ、夫ヨリ以上ニ發達シテ大都市トナルニハ純消費者ノ大ナル集注ヲ必要トスルモノト考ヘルノデアル。而シテ氏ハ其理由ヲ都市形成力トシテノ商業及ビ工業ノ性質、竝ニ第十六世紀、第十七世紀及ビ第十八世紀ニ於ケル歐洲ノ大都市ノ發達ヲ研究シテ説明セント試ミテ居ル。

氏ハ先ヅ純商業都市ガ大都市ニ發達シ得ザル所以ヲ論ジテ、是レ運搬技術ガ幼稚ニシテ商業ノ範圍ガ狹小ナリシガ爲メカ、又ハ運搬技術が大ニ發達シテモ、本來

商業利得ハ比較的ニ少ナルモノニシテ、巨額ノ價值分量ヲ商業利得トシテ商人ノ手ニ收メ、以テ都市人口ニ生活資料ヲ給與スルニハ非常ニ多大ナル商品ノ分量ガ交易サレテバナライ爲カデアルト云ハレテ居ル而シテ夫レヨリ近世資本主義時代早期ニ於テ廣大ナル領域ノ餘剩生産ヲ商業都市ニ集注セシメ、以テ其ノ大ナル膨脹ヲ可能ナラシメタル根本的過程即チ商業都市ヲシテ大都市ニ發達スルコト得サセタ根本的過程ヲ探究シテ、之ヲ地方貴族ノ都市化 *die Urbanisierung* 及ビ近世諸侯ノ財政經營ニ歸シテ居ル要スルニ氏ハ地方貴族ノ都市化ハ都市ニ移住スル地方貴族即チ土地所有者ヲシテ今ヤ愈々増加シ來レル地方生産ニ於ケル彼等ノ所得ヲ都市地代ノ形態ニ於テ運用スルニ至ラシメ、又近世諸侯ノ財政經營ハ迅速ニ増加シ來レル租税ニ於テ、國民の生産物ノ價值ノ大ナル部分ヲ都市ニ集注セシメテ茲ニ之ヲ消費スル最トモ確實ナル手段ヲ作ラシメタト考ヘルノデアル。而シテ左ノ如クニ云フテ居ル、余ハ資本主義時代早期ニ於テ、殊ニ大國ノ首府ニ於テ見ル處ノ大ナル膨脹ハ、上述ノ如キ消費ノ集中、隨フテ上述ノ人口層ニ於テ始メテ發達セルガ如キ需要ノ分量的殊ニ品質的進歩ニ負フ處甚ダ大ナリシコトヲ主張スルニ躊躇シナイ。地方貴族役人、理財家等ハ今ヤ都市形成的要素トシテ商人ニ加ハ

リ而シテ吾人ガ始メテ正當ニ大都市ノ名稱ヲ附スルコトノ出來ルカノ近世都市ノ類型ヲ明カラニ決定シタノデアル。資本主義時代早期ノ大都市ハ勝レテ消費都市デアアル。大消費者トハ吾人ニ熟知セラル、人々、即チ君主諸侯僧侶貴族、及ビ新シキ重要ナル一部類理財家等デアアル。最大都市ハ最大消費者ノ居住處デアアルガ爲メニ大ナルモノデアアル。サレバ都市ノ膨脹ハ本來都市的中心ニ於ケル消費ノ集中ニ負フ處甚ダ大ナルモノデアアル。

次ニゾムバールト氏ハ工業ノ都市形成力ニ付テ論ジテ居ルガ氏ノ考フル處ニヨレバ資本主義的工業モ始メハ別ニ都市形成力ヲ有ツテ居ラナカツタガ後一定ノ條件ノ下ニ於テ之ヲ獲得シタノデアアル。然ラバ其ノ條件トハ如何ナルモノデアアルカト云フニ、一ハ經營ノ集中ニシテ、二ハ企業ノ集中デアアル。而シテ是等ノ條件ニヨリテ工業ガ多數ノ人口ヲ一定ノ場處ニ集中セシムルニ至ルト、更ニ他ノ條件ガ加ハツテ工業ノ都市形成力ハ一層増進シテクル。其ノ一ハ一定ノ場處ニ幾多ノ工場ガ集合シテ居ルト云フコトハ自カラ他ノ工場ヲ其處ヘ引キツケル傾向ヲ生ズルコト、或ハ一ノ既存ノ工業ニ他ノ工業ガ結び付イテクルト云フ傾向ガ自カラ發生スルコトニシテ、其ノ二ハ此ノ如クニシテ一定ノ場處ニ數多ノ工業ガ簇集ス

ルコトニヨリテ生産ガ迅速ニ増進スルコトデアル。而シテ以上述べシガ如キ方法ニ於テ茲ニ純工業都市、或ハ其發生ノ方法ヨリ見テ第一次の工業都市ト稱ス可キモノガ發生シテクルノデアル。總テノ純工業都市ニ共通スル經濟的特徴ハ彼等ノ貸借關係ノ主働的ナルコトデアル。彼等ノ生産スル價值ノ總計ハ少クモ彼等ノ消費スル價值ノ總計ヲ充タスノデアル。然シ詳シク調ラベテ見ルト吾人ハ彼等ニ付テ二種ノ類型ヲ分ツコトガ出來ル。一ハ工業的部分都市ト稱ス可キモノニシテ、二ハ工業的完全都市ト稱ス可キモノデアル。兩者ノ差別ニ就テハサキニ説明シテ置イタ。而シテ工業的部分都市ハ中都市以上ニ發達スルコトハ稀レデアルガ、工業的完全都市ハ漸次ニ發達シテ官吏ヤ軍隊ノ中心地トナリ、更ニ周圍ノ地方ノ商業及ビ信用取引ノ中心地トナルダケノ大サニ達スルトキハ大都市トナル傾向ヲ現ハシテクルノデアル。

以上述べシ第一次の工業都市ニ對シテ、第二次の工業都市ト稱ス可キモノガアル。是レ他ノ原因ニヨリテ既ニ成立セル都市ニ於テ工業ノ大ニ發達スル場合デア。而シテカ、ル場合ハ殊ニ大都市ニ多イ様デアル。蓋シ大都市ハ新ラタニ工業ヲ起スニ當テ種々ナル便益ヲ與フルカラデアル。然シ是等ノ便益ノ大ナル部分ハ今

ヤ資本主義的經濟法ノ愈々強烈ニナレルコト、殊ニ交通運搬ノ技術ノ完成セルコトニヨリテ消失シテ來タ。更ニ大都市ノ地價及ビ勞働力ガ一般ニ愈々騰貴シ來レルコトハ、自カラ其等ノ便益ヲ相殺シテ來タ。此クテ近來總テノ文化國ニ於テ現ハル、一般的現象トシテ、重要ナル工業ガ最大都市ヨリ逃ゲ出シツ、アルヲ見ルノデアル。然シ之ガ爲メニ人口ノ都市集注殊ニ大都市集注ノ傾向ガ減弱シテ來タト推斷シテハナラヌ。資本主義ガ愈々強烈ニナリ、膨脹スルニツレテ、國民經濟的餘剩價值ノ益々大ナル部分ガ必然的ニ近代の交通ノ中心、殊ニ最大都市ニ集中シテ居ル。而シテ大都市ハ再ビ愈々消費中心トナツテ居ル。實ニ近代大都市ノ生計勘定ハ恐クハ何レノ時代ニ於テヨリモ一層受働的ノモノトナツテ居ルト考ヘラレルノデアル。

ゾムバールト氏ノ說ノ大要ハ以上述べシガ如キモノデアルガ、要スルニ同氏ハビュヒヤー氏ガ近代大都市ノ生産的機能ヲ重要視シテ其ノ特徴ヲ決定セントスルニ對シテ、其ノ消費的機能ヲ重要視シテ其ノ特徴ヲ決定セントスルノデアルト思フ。然ラバ是等二說ノ何レヲ以テヨリ正當ノモノト見ル可キカ。

余ノ考ヘル處ニヨレバ、今若シ近代大都市ヲ古代大都市ニ比較對照シテ考察ス

ルニ於テハ、其ノ生産的機能ガ重要ナル役目ヲ演ズル點ニ於テ近代大都市ハ古代大都市ト著シク異ナツテ居ル。隨フテ近代大都市ノ特徴ハ其ノ生産的ナル點ニアルト云ハチバナラス。更ニ近代大都市ノミニ就テ考フルモ、人口十萬人以上ノ總テノ大都市ヲ總括シテ之ヲ平均的ニ研究スルニ於テハ、ヤハリビュヒヤー氏ノ云ハル、如ク、生産的機能ノ重要殊ニ工業的活動ノ重要ガ著シク現ハレテクルノデアル。然ルニ近代大都市中特ニ其ノ最大ナルモノ、所謂巨大都市ナルモノニ就テ考察スルトキハ、余ハ其ノ消費的機能が甚ダ重要ナル意義ヲ有スルト思フ。サレバビュヒヤー氏及ビゾムバールト氏ノ說ハ、何レモ見方ニヨツテハ謬ツテ居ラナイノデアル。若シ近代大都市ヲ平均的ニ考察スルトキハビュヒヤー氏ノ云ハル、如ク其ノ生産的機能ハ甚ダ重要ナル意義ヲ有スルノデアル。サレド若シ特ニ其ノ最大ナルモノニ就テ考察スルトキハゾムバールト氏ノ云ハル、如ク、其ノ消費的機能ハ甚ダ重要ナル意義ヲ有スルト思ハレルノデアル。更ニ余ハ大都市ガ大ナルニツレテ一般ニ其ノ消費的機能ノ重要ハ増スト考ヘルノデアル。余ハ右ノ見解ヲ論證スル爲メニ數多ノ材料ヲ蒐集シツ、アルガ、マダ之ヲ組織的ニ論述スルマデニハ研究ヲ積ンデ居ラナイカラ、茲ニハ唯愚見ノ主旨ヲ述ブルダケニ止メテ置ク。而シテ

之レヨリ近代大都市殊ニ巨大都市ガ近代消費生活上ニ及ボス影響ヲ概論シテ、以テ近代大都市ノ消費的機能が近代生活上ニ有スル意義ヲ闡明セントスルノデア
ル。

今近代消費生活ハ之ヲ前代ノ消費生活ト比較スルニ、重大ナル變動ヲ呈シテ居ルガ、其等ノ變動ニ就テ特ニ重要視ス可キモノハ、分量ノ方面ヨリ見レバ消費ノ伸張及ビ消費ノ濃蜜化ト稱ス可キモノニシテ、(ゾムバールト氏ノ云フ die Ausweitung des Konsums und die Verdichtung des Konsums)而シテ性質ノ方面ヨリ見レバ欲求或ハ消費ノ精化、欲求或ハ消費ノ統一化及ビ都市化、竝ニ欲求或ハ消費ノ動化ト稱ス可キモノデア
ル。ゾムバールト氏ノ云フ die Verfeinerung des Bedarf, die Vereinheitlichung des Bedarfs und seine Urbanisierung, die Mobilisierung des Bedarfs. Sombart, Der Moderne Kapitalismus, II. Bd. 13, 14, 15, 16 und 17 Kaps. 「流行ノ心理ト現代經濟生活」(四本紙第十七卷第一號參考)サレバ是等ノ諸點ニ於テ近代大都市ガ如何ナル影響ヲ及ボシテ居ルカラ考究スレバ之レニヨリテ近代大都市ノ近代消費生活上ニ有スル意義ハ最トモヨク闡明サレルト思フ。

先ヅ消費ノ伸張即チ財貨需要ノ甚大ナル増加ニ就テ考ヘテ見ルニ、此點ニ於テ

ハ近代大都市ハ直接ニハ格別ナル影響ヲ及ボシテ居ラナイト思フ。然シ消費ノ濃蜜化ニ於テハ近代大都市ノ影響ハ著シク現ハレテ居ル。全體消費ノ濃蜜化ト云フハ箇々ノ欲求或ハ需要ガ相互ニ起ル其ノ間隔ノ段々縮小スルコトヲ意味スルモノニシテ、先ヅ人口ガ益々大ナル都市ニ集積スルコトニヨリテ發達スルノデアル。更ニ交通及ビ運輸ノ機關ガ大ニ發達シテ、地方ノ消費者ガ容易ニ都市の消費中心ニ接觸スルコトガ出來、又生産者及ビ商業者ガ廣大ナル範域ニ散在スル消費者ト益々直接ニ接觸スルコトガ出來ル爲メニ、消費ノ濃蜜化ガ愈々發達スルノデアル要スルニ大體上カラ見テ消費ノ濃蜜化ハ都市殊ニ大都市ヲ中心トシテ發達スルモノデアルト云フコトガ出來ルト思フ。次ニ欲求或ハ需要ノ精化ニ就テ考ヘテ見ルニ、之ハ又趣味ノ進歩ト稱シテモヨイノデ、吾人ハ之ヲ三ツノ方面ニ就テ考察スルコトガ出來ル。一ハ財貨ノ原料ニ關スル方面ニシテ、二ハ其ノ形態ニ關スル方面、三ハ目的ニ關スル方面デアル。需要ノ精化、趣味ノ發達ハ是等三ツノ方面ノ總テニ於テ同時ニ行ハル、コトアレバ、又唯其ノ一ツノ方面或ハ二ツノ方面ニ於テノミ行ハル、コトモアル。茲ニ此問題ニ就テ別ニ論究スル暇ハナイガ、要スルニ欲求或ハ需要ノ精化、趣味ノ發達ハ如何ニシテ行ハル、ニセヨ、一般ニ都市殊ニ大都市ニ

於テ先ヅ行ハレ、夫ヨリ全國ニ普及スルモノデアル事ハ詳シク論述スル必要ハナ
イト思フ。次ニ欲求或ハ需要ノ統一化ニ就テ考ヘテ見ルニ、茲ニ需要ノ統一化ト云
フハ、ツマリ同種ノ財貨ニ對スル大量需要ノ發達ヲ意味スルモノデアルガ、是レ實
ニ大資本主義的企業ノ發達ヲ誘致スル直接原因ノ一デアルト同時ニ、又之レニヨ
リテ大資本主義的企業ハ愈々發達スルノデアル。而シテ其ノ發達ノ原因トシテハ
種々ノ事情ガ協働シテ居ルガ、其中ニ於テ消費ノ集合化及ビ趣味ノ一様化ト稱ス
可キモノガ甚ダ重要ナル地位ヲ占メテ居ルト思フ。(die Kollektivierung des Konsums
und die Uniformierung des Geschmacks) 消費ノ集合化ト云フハ、ツマリ以前ニハ個人的又
ハ家族的ニ充足サレテ居ツタ欲求ガ今ヤ甚ダ多數ノ人々ニ於テ統一的ニ充足サ
ル、ニ至レルコトヲ意味スルノデアル。而シテ此ノ消費ノ集合化ナルモノハ一般
ニ先ヅ大都市ニ於テ最トモヨク發達シ、夫ヨリ全國ニ普及スルモノデアリ、更ニ其
ノ發達上大都市ハ直接間接ニ種々ナル影響ヲ及ボシテ居ルノデアル。趣味ノ一様
化ノ發達ニ付テハ大都市ハ趣味ノ發達、欲求ノ精化ニ於ケルト同ジク甚ダ重要ナ
ル役目ヲ演ジテ居ル。以前ノ時代ニアリテハ各地方ハ夫レ夫レ特有ノ趣味ヲ有シ
各小都市ハ夫レ夫レ祖先傳來ノ習慣ヲ誇リトシテ之ヲ固守シテ居ツタノデアル。

隨フテ國民ノ趣味ハ千差萬別ニシテ一向統一スル處ガナカツタガ然ルニ近世資本主義ノ發達ニヨリテ一切ノ地方的及ビ身分的差別ハ消滅シ國民ノ趣味ハ自カラ平等化シテ來タ而シテ此場合ニ國民一樣ノ趣味ヲ決定スルモノハ實ニ都市殊ニ大都市デアルノデアル。今ヤ何レノ文明國民ニ於テモ國民全般ノ衣服住居其他總テノ財貨ニ對スル趣味欲求ハ都市殊ニ大都市ニヨリテ一樣的ニ決定サレテ居ルノデアル。次ニ欲求或ハ需要ノ都市化ニ就テ考ヘテ見ルニ茲ニ欲求ノ都市化ト云フハ特ニ田舎的欲求ニ對シテ都市的欲求ノ特徵ト見ル可キモノガ段々田舎的欲求ノ特徵ヲ排除シテ之レニ取り代リモトノ田舎的欲求ト稱スルモノハ漸々衰退シテ田舎人ノ欲求モ都市的トナルコトヲ云フノデアル。而シテ今田舎的欲求ト都市的欲求トヲ比較對照シテ夫レ夫レノ特徵ヲ調べテ見ルト前者ハ堅固、健實、素樸、永續等ヲ主旨トスルニ對シテ後者ハ適意、輕妙、優雅、*chic*等ヲ主旨トスルノデアル。然ルニ今ヤ近代文明國ニ於テハ國民一般ニ通ジテ欲求セラル、財貨ハ堅固、健實、素樸、永續等ヲ主旨トスルヨリハ寧ロ適意、輕妙、優雅、*chic*等ヲ主旨トスル者トアリツ、アルノデアル。チード氏ハ之ヲ以テ消費ノ進化ノ徵候ト認メテ居ルガ(Gide, L'Evolution dans la Consommation, Annales de L'Institut Internationale de Sociologie, Tome XIV.)

濟的進歩「京、都法學會雜誌第九卷第二號參考」ソハ兎ニ角此現象ハ確カニ欲求或ハ需要ノ都市化ヲ表示スルモノデアルハ疑フ可カラザルコトデアル。余輩ハ更ニ田舎的小都市の欲求ニ對シテ大都市の欲求ノ特徵ト認ム可キハ其ノ甚ダ不安定ニシテ常ニ變動シツ、アルコトデアル。是レ欲求或ハ需要ノ動化 Die Mobilisierung des Bedarfs ト稱ス可キモノニシテ、ツマリ流行變遷ノ急激ナルコトヲ意味スルモノデアル。而シテ近代文明國ニ於テハ流行ハ經濟生活其他諸般ノ社會生活ニ於テ如何ニ重要ナル意味ヲ有スルモノデアルカ又現今ノ流行ニ於テ大都市ハ如何ニ重要ナル役目ヲ演ズルモノデアルカハ、余ハ嘗テ本紙ニ於テ發表シタル「流行ノ心理ト現代經濟生活」ト題スル論文「本紙第十六卷第一號第六號及ビ第十七卷第一號」ニ於テヤ、詳シク論述シテ置イタカラ茲ニハ省略スル。

以上論述シ來レル處ニヨリテ、余ハ近代大都市ノ消費的機能ガ近代消費生活上如何ニ重要ナル影響ヲ及ボスカヲ示シ、之レニヨリテ近代生活ニ於ケル大都市ノ經濟的意義ヲ其ノ最トモ重要ナル方面ニ於テ大體上闡明スルコトガ出來タト信ズル。尙ホ本論文ノ問題ニ就テハ論述シタキコト多々アルガ、是レマデ論述シ來レル處ニヨリテ本體上余ノ主意ヲ説キ了ツタト信ズルカラ之ニテ擱筆スル。(完結)